

## 利用者プロフィール

氏名：Kさん（38歳／女性）  
居住状況：1人暮らし  
身体状況：知的障害、糖尿病、腰部ヘルニア  
親族状況：父親は入院中。

## 事例11



### 本事業利用のきっかけ

母親の死去と父親の長期入院で1人暮らしとなり、室内は汚れ、近所ともめごとを起し、食生活の乱れによる糖尿病の悪化、バイクに乗って昼夜頻繁に外出するという生活状況であった。金銭面では本人と父親の年金を使い切り、税金や公共料金、家賃などの滞納があった。生活全般の自立支援にかかわった生活支援ワーカーと市町村から、収入に見合ったやりくりができるよう支援して欲しいとの相談があり利用申込みになった。

### 援助の内容

日常生活や健康面での不安改善と自立生活に向け、ホームヘルプサービスの利用につなげた。依頼心が強いので清掃や調理など徐々に自分のできるような援助内容とした。ホームヘルパーや生活支援ワーカーなどと連携をしながら、人間関係や生活上でのトラブルの訴えを受け止め、心身共に安定した生活ができるよう見守りをしている。金銭管理では、毎週本人を訪ねて細やかな対応ができるようにしている。現在の生活費は年金の他父親の援助で賄っているが、将来的には本人の収入による自活が目標である。

福祉サービス利用援助

日常的金銭管理サービス

## 利用者プロフィール

氏名：Lさん（83歳／女性）  
居住状況：息子と2人暮らし  
身体状況：認知症、歩行困難、要介護度4  
親族状況：息子がいるが、夫は死亡。

## 事例12



### 本事業利用のきっかけ

本人は、骨折により自力では歩行も困難となり、介護が必要な状態となった。同居していた息子は会社を辞め、定職につかず、年金を搾取してギャンブルに使い込んだり、暴力を振るうこともあった。公共料金や介護保険に係る費用も滞納しているため、福祉サービスを利用したいものの利用できずにいた。本人の年金を自分のために使えるようにと保健師から相談が寄せられた。

### 援助の内容

本事業の利用については、息子の同意を得た上で開始をした。通帳、印鑑等は預かりサービスを利用する事により年金の搾取を防止できた。また、些細なことであっても関係機関と連絡調整を行い情報の共有化を行っている。月1回の支援日はホームヘルプサービスの時間帯に合わせ、滞納していた事業所への返済や食材費等必需品の購入依頼、医療費等の支払いをしている。本人も安心して福祉サービスが利用できるようになった。一方、同居の息子に対する援助は地域の民生委員が中心となって見守りを行っている。

福祉サービス利用援助

日常的金銭管理サービス

書類等預かりサービス